

石川県七尾美術館だより

平成16年7月3日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第38号(夏号)

「長谷川等伯展

～能登時代の仏画と北陸の長谷川派～」より

七尾市指定有形文化財

善女龍王図

長谷川信春（等伯）

天文8年～慶長15年（1539～1610）

室町時代末期

縦35.5 横16.3 (cm)

石川県七尾美術館蔵

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



展覧会紹介

平成16年7月3日(土) ~

10月24日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「長谷川等伯展」

「能登時代の仏画と北陸の長谷川派」

9月18日(土) ~ 10月24日(日)

【会期中無休】

◆第一・二展示室

能登国七尾出身の長谷川等伯(一五三九~一六一〇)は、二十歳代にはすでに信春の名で多くの仏画や肖像画を描き、三十歳を過ぎて居を京都に移して高僧や当時最高の文化人たちと親交を結び、五十歳代には長谷川一派の長となり、画壇の実力者であった狩野派に対抗して活躍しました。

当館では、等伯出身地の美術館として平成八年度から毎年テーマを変えて「長谷川等伯シリーズ」展を開催、十三年度からは長谷川派の紹介も行ってきました。来年は開館十周年、当シリーズ展も十回目となります。そこで九回目となる今年には、能登時代の等伯作品を今一度見直す意味で、北陸に現存する信春時代作品から仏画を中心に展覧します。また、北陸に現存し、等伯の作品と何らかの繋がりと考えられる長谷川派の作品などもあわせて紹介します。



「日蓮聖人像」一幅
長谷川信春(等伯)筆 大法寺蔵

【能登時代の仏画】

等伯の生家奥村家、養子先の長谷川家の菩提寺は共に法華宗(現在、日蓮宗)であり、能登時代は特に法華宗関連の仏画や頂相を多く描いています。

高岡市大法寺には、「日蓮聖人像」と三幅の仏画が現存していますが、これら四幅は同じく大法寺所蔵の「七字題目」とあわせて日蓮宗の曼荼羅本尊をあらわしたものであり、等伯自身も熱心な法華信者であったことが窺われます。



「三十番神図」一幅
長谷川信春(等伯)筆 大法寺蔵

一方、その他にも禅宗系や密教系の仏画も制作しており、仕事としては宗派にこだわらずこなしていたことが分かります。

【北陸の長谷川派】

現存作品の技法や表現から、等伯は二十歳代にはすでに京都を行き来し、三十歳中頃に移住したと考えられます。また、京都に移住した後も、何回かの行き来があったものと推測され、そうなるに等伯が長谷川一派の長となった五十歳代頃には、等伯を頼って一時的に上洛して一派で学ぶ能登出身の絵師もいたのではないのでしょうか。

晩年、等伯が語った芸術論を、本法寺の日通上人が綴った『等伯画説』の画系譜には、等伯と並



「達磨図」一幅
長谷川等言(等権)筆 妙慶寺蔵



「達磨図」一幅
長谷川左近(等重)筆 個人蔵



「達磨図」一幅
長谷川信春(等伯)筆 龍門寺蔵

んで養父、宗清(道浄)の名があり、宗清も画家であった可能性が指摘されています。さらに、画説中には養祖父の法淳が、能阿弥の「鳴鶴図」を時宗の七条道場で見たとの記述もあり、当時等伯の養祖父もすでに京都を訪れ、さらに絵にも関心があったことが窺われます。

北陸地方には、長谷川派筆の仏画や等伯と関係があると考えられる作品が数点確認されています。等伯の上洛後に能登で活動した絵師もある程度存在したと見られる一方で、最近では等伯が影響を受けた可能性のある作品が注目されています。

能登時代の等伯仏画

と、北陸に現存する長谷川派の同画題仏画などを、比較しながらご覧ください。



「涅槃図」 一幅
長谷川等誓筆 東嶺寺蔵

《出品予定作品》 (○＝重文、□＝県文、△＝市町村文)

1. □「十二天図」長谷川信春等伯
三面内一面 羽咋市・正覚院
2. □「七字題目」
一幅 高岡市・大法寺
3. ○「日蓮聖人像」長谷川信春等伯
一幅 高岡市・大法寺
4. ○「鬼子母神・十羅刹女図」長谷川信春等伯
一幅 高岡市・大法寺
5. ○「釈迦・多宝仏図」長谷川信春等伯
一幅 高岡市・大法寺
6. ○「三十番神図」長谷川信春等伯
一幅 高岡市・大法寺
7. □「十六羅漢図」長谷川信春等伯
八幅 七尾市・霊泉寺
8. 「十六羅漢図」長谷川派
二面 鹿島郡田鶴浜町・悦叟寺
9. □「十六羅漢図」長谷川左近(等重)
十二幅内四幅 金沢市・大乘寺
10. △「善女龍王図」長谷川信春等伯
一幅 石川県七尾美術館
11. □「愛宕権現図」長谷川信春等伯
一幅 石川県七尾美術館

12. □「達磨図」長谷川信春等伯
一幅 七尾市・龍門寺
 13. 「達磨図」長谷川左近(等重)
一幅 金沢市・個人
 14. 「達磨図」長谷川等言(等重)
一幅 金沢市・妙慶寺
 15. △「涅槃図」長谷川派
一幅 七尾市・長壽寺
 16. △「白描涅槃図」長谷川等誓
一幅 七尾市・成蓮寺
 17. 「涅槃図」長谷川等誓
一幅 鹿島郡田鶴浜町・東嶺寺
 18. 「涅槃図」長谷川派
一幅 高岡市・大法寺
 19. 「波龍図屏風」長谷川左近(等重)
六曲一雙内右隻 和歌山県高野山・金剛三昧院
 20. 「波龍図屏風」伝長谷川等伯
六曲一隻 京都市・本法寺
- ★本展会期中の十月二日(土)、仲春洋氏(ながしんやう) (長谷川派画系後裔) による特別講演会と、引き続き同氏と当館館長により対談を予定しています。詳しくは六ページをご覧ください。
- ★当館ハイビジョンコーナーでは、等伯作品を収録した番組六本を、自由にご覧いただけます。
- ★会期中、毎年恒例の「子どもなんでもクイズ」も実施します。全問正解者の中から抽選で、素敵なプレゼントを差し上げます。お楽しみに!

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	300円	300円
	700円	600円	

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。
※同時開催の「秋季・所蔵品展」と共通です。

「秋季・所蔵品展」草花の表現

◇第三展示室

当館所蔵作品及び寄託作品から、草花が描かれた絵画・工芸などを紹介します。

色鮮やかな花を描いた絵画、一色で絵付けされた趣のある焼き物など、それぞれ違った技法で表現された草花たちをお楽しみください。

《出品予定作品》

1. 「織部柳文筒向附」池田コレクシヨン
2. 「織部菊図折込鉢」池田コレクシヨン
3. 「織部すすき文徳利」池田コレクシヨン
4. 「志野梅花千鳥向附」池田コレクシヨン
5. 「鼠志野草花文向附」池田コレクシヨン
6. 「志野草花文大徳利」池田コレクシヨン
7. 「沈金象嵌合歡図色紙箱」山岸 一男
8. 「夕 暉」上田 珪草
9. 「飛 鳩」上田 珪草
10. 「ベルシヤ壺の椿」高光 一也
11. 「マジョリカ壺の薔薇」高光 一也
12. 「安曇野の春」佐藤あつ子
13. 「草叢での会話」堀場 良夫
14. 「静夜芳香」水道 秋聖
15. 「トルコ桔梗」寺井 重三
16. 「ティータイム」前田さなみ
17. 「春の塔」成之坊良輔
18. 「セレナーデ(Ⅱ)」中村 静勇



「織部菊図折込鉢」



「ティータイム」
前田さなみ

「池田コレクション選抜展」

7月3日(土)～8月15日(日)

第一・二展示室

当館所蔵品の中核「池田コレクション」による
展覧会です。

本コレクションを蒐集した池田文夫氏は明治四十年(一九〇七)に七尾市に生まれ、戦後間もない昭和二十三年に岐阜県大垣市で和興紡績株式会社を設立します。そして中部石川県人会会長や日本経営者団体連盟常任理事など、中部地方を代表する経済人として活躍し、昭和六十二年(一九八七)に八十歳で亡くなりました。

氏にはその多岐にわたる功績に対して藍綬褒章が贈られた他、岐阜県大垣市からは産業功労賞、また昭和五十九年には当七尾市の名誉市民に推挙されています。

また、氏は美術品に対して大変興味を持ち、その蒐集に情熱を注ぎました。それは若かりし時、貰ったばかりのボーナスをそっくり作品の購入にあて、夫人に空の袋を渡して驚かせたという事が度々あったという話からも窺われます。氏の美術品に対する姿勢は、作品をあれこれ難しく考えるのではなく、とにかく気に入った作品を純粹に「いじる」事を至福としたといえます。

氏没後の昭和六十三年及び当館が開館した平成七年に、ご遺族より計一四七点の作品のご寄付を



「松図」熊谷守一

受けました。その内容は滞在した岐阜県美濃地方にゆかりが深い「黄瀬戸」「志野」「織部」などの陶器類を中心とした茶道美術品と、日本の近現代絵画からなっており、そこからは氏のスケールの大きい人となりや、美術品に対する優れた鑑識眼を見る事ができます。

現在この美術コレクションを「池田コレクション」と呼んでいます。本展ではその内計五十一
点の作品を紹介いたします。



【工芸】

「池田コレクション」の中心である陶器類からは「織部」などの「美濃焼」をはじめ、京都で焼かれた「楽焼」などを展示します。また、漆芸・金工では松田権六(一八九六～一九八六)や初代魚住為楽(一八八六～一九六四)といった、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品などを紹介
します。



「織部人物置物」(部分)

【絵画・彫刻】

絵画では岐阜県ゆかりの作家である熊谷守一(一八八〇～一九七七)、前田青邨(一八八五～一九七七)などを始めとした近現代日本画家の作品、彫刻では日本の近代木彫に大きな足跡を残した高村光雲(一八五二～一九三四)などの作品を紹介
します。



「木彫聖観音菩薩像」
高村光雲

【特別展示】

本展期間中、七尾出身で桃山時代に活躍した画家である長谷川信春(等伯)が描いた作品「陳希夷睡図」を特別展示します。

「陳希夷睡図」は中国五代宋時代の道士である陳搏(号希夷)を描いた水墨画で、作風や印章などから等伯四十歳代の作品と考えられています。本作品に使用されている印章は「鼎形」であり、現存する等伯作品の内、この印章を用いている作品は他に二点が知られているのみで、絵画的のみならず史料的にも大変に貴重な作品です。



「陳希夷睡図」長谷川信春(等伯)

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	2800円	3500円	2800円

※中学生以下無料、団体は二十名以上です。

「モントレー・ジャズ・

フェスティバル・ポスター展」

7月23日(金) ～ 8月8日(日)

◆第三展示室

七尾市の姉妹都市であるモントレー市(米・カリフォルニア州)は「世界三大ジャズフェスティバル」の開催地として知られています。

七月二十四日(土) 七尾マリナーパークで開催される「モントレー・ジャズ・フェスティバル(MJF) in 能登2004」にあわせ、平成八年にモントレー市より七尾市・和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合に友好の記念として贈られたMJFポスターを一堂に展示・紹介します。



EARL NEWMANがリトグラフで制作し、初刷りが米国ワシントンのスミノニアン博物館にも収められている貴重な版画ポスターなど、ジャズの世界を色鮮やかに、そして躍動的に描いた作品約五十点を、この機会に是非ご堪能ください。

※観覧料は「池田コレクション選抜展」と共通料金です。

「夏季・所蔵品展

「画家たちの視点」・「造形の魅力」

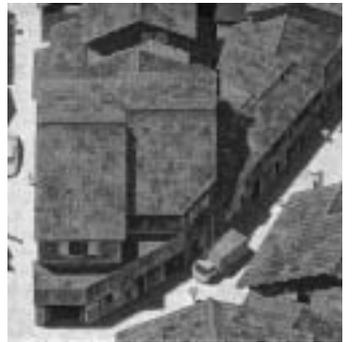
8月20日(金) ～ 9月12日(日)

◆第一・二展示室

当館所蔵品及び寄託品より現代作品を中心に、二つのテーマで日本画・洋画・彫刻・工芸など約四十点を紹介する所蔵品展です。

「画家たちの視点」

キャンバスや紙に描かれる風景や人物、静物は



「午後」中町 進

画家を通して純化され、作品として再構成されます。鑑賞者は絵の前に立ち、その画面を見つめることで、彼らが描いた対象をどのようにとらえたかを体現することができます。画家がその対象を見つめた視点で、ご鑑賞ください。

「造形の魅力」

芸術の面白さは、その創造力にあります。日常生活の中では見過ごしてしまうような、一瞬の動きをとらえ、切り取り、彫刻として形に残すことや、抽象的で自然界に存在しない形を生み出すことも可能です。

彫刻や工芸などに表現される造形の魅力をお楽しみください。

また、本テーマでは平成十五年十一月に亡くなられた石川県鳳至郡穴水町出身の彫刻家、川岸要吉氏(一九三



「潮文」番浦省吾

一～二〇〇三)のご遺族から、今年五月にご寄付いただいた彫刻作品三点を当館初展示します。

◇観覧料

一般	個人	団体
280円	350円	280円
280円		220円

※中学生以下無料、団体は二十名以上です。

市民ギャラリー 展覧会案内

第9回七尾日創展

7月8日(木) ～ 11日(日)
但し、初日は午後2時から

最終日は午後3時まで

石川県内外からの公募による日本画を中心とした絵画作品約六十点を展示します。人物や風景、花鳥、各作家が思いを込めて表現した個性あふれる日本画をお楽しみ下さい。

入場料 無料

主催 日創会(代表 丹羽俊夫)

連絡先 三宅厚史

☎〇七六七(七七) 一三六八

第63回七尾港まつり協賛

第10回記念七尾美術作家協会展

7月17日(土) ～ 19日(月・祝)
但し、最終日は午後4時まで

七十九名の全会員の作品を展示します。特に今年第十回記念展であり、作品の充実を目指します。

協会展のあと、七月二十二日から八月二十五日まで、鳥屋町ふるさと創修館で移動展を行います。

入場料 無料

主催 七尾美術作家協会

連絡先 七尾美術作家協会事務局長 木本香泉

☎〇七六七(五二) 四〇一一

第14回彩虹画展

8月12日(木) ～ 15日(日)
但し、最終日は午後4時30分まで

七尾市と志賀町で活動する洋画グループ四団体、彩の会、グループ虹、英の会、画好会の会員約四十

名が、大作から小品まで約六十点の近作を展示発表するもの。人物、静物、風景など写実画が中心。

入場料 無料

主催 彩虹画会

連絡先 七尾市料金業務課 加地 求
☎〇七六七(五三) 八四三二

星野富弘・花の詩画展

8月25日(水)～9月5日(日)

但し、初日は午前10時から

星野富弘さんは器械体操の模範演技中、空中回転に失敗し、首から下の自由を失いました。周囲の暖かい励ましにより詩画に取り組み始め三十余年。全国百数十ヶ所で開催。本展は水彩画など百点を展示。

入場料

一般・大学生	500円	個人	前売・団体
中高生	300円		200円

※小学生以下無料、団体は20人以上です。

主催

北陸中日新聞・北陸中日新聞社会事業
団・石川テレビ放送

連絡先

北陸中日新聞 事業部
☎〇七六七(二三三) 四六四二

七尾能面展2004

9月7日(火)～9日(木)

但し、初日は午前11時から

最終日は午後4時まで

能面の美しさに魅せられた十二人が各々制作した女面、男面、鬼神面等の能面約五十面を展示します。能面の解説や、能面を着ける体験コーナーも予定しており、能面を身近に鑑賞して下さい。

入場料 無料

主催 面匠会・能登面打同好会
連絡先 森多雪山
☎〇七六七(二二) 一一〇七

水墨画比古呂会会員展

9月10日(金)～12日(日)

但し、初日は午後1時から

最終日は午後3時まで

自由な発想で描いた、水墨・墨彩画です。掛軸・額装を問わず出品した作品です。能登方面の方々に広く見ていただきたく、開催いたします。

入場料 無料

主催・連絡先 水墨画比古呂会
☎〇七六七(二六八) 七〇一六

アートホール催し物案内

Little Pianist Concert - Vol.9 -

7月4日(日) 開演 午後1時30分

上手に弾けるかな?ドレス着るのウレシイな♪
ドキドキだけど、楽しく演奏できるといいな!
子供たち一人一人、個性も演奏もそれぞれ。夢いっぱい、笑顔いっぱい、ピアノ発表会です。

入場料 無料

主催 川部真紀門下生

連絡先 川部真紀
☎〇七六七(五七) 一六四二

第23回北嶺中学校フルバンド部定期演奏会

7月25日(日) 開演 午後2時

日頃の部活動の成果を発表します。十八名という少ない人数ですが、今年もジャズから演歌と幅広く演奏します。恒例のベルの演奏にもチャレン

ジします。今回はどんなコンサートになるか、お楽しみに!皆さんのご来場をお待ちしております。

入場料 無料

主催・連絡先 七尾市立北嶺中学校
☎〇七六七(五八) 一一二二三

第6回佐藤有希子門下生ピアノ発表会

8月1日(日) 開演 午後1時30分

年長さんから高校生の皆さんが、日頃の練習の成果をピアノ独奏や連弾で発表します。

入場料 無料

主催 佐藤有希子門下生

連絡先 佐藤有希子
☎〇七六七(五四) 〇九五五

トリオ・バーバラによる夏の夜のコンサート

8月6日(金) 開演 午後7時

夏の夜、ヴァイオリン、チェロ、ピアノの演奏でお楽しみ下さい。ヴァイオリン・江原千絵、チェロ・福野桂子、ピアノ・木下由香です。

入場料 無料(要整理券)

主催 能登中部保健福祉センター(能登中部保健所)

連絡先 能登中部保健福祉センター 佐藤・青木
☎〇七六七(五三) 二四八二

片岡美由紀・平野千恵門下生ピアノ発表会

8月8日(日) 開演 午前10時30分

一年に一度開催している発表会です。クラシックからポピュラーまで、ジャンルにこだわらずに演奏します。

入場料 無料

主催 片岡美由紀ピアノ教室・平野千恵ピアノ教室

連絡先 平野千恵

☎〇七六七(六二) 二〇六三

第25回 等伯まつり

9月17日(金) 開演 午後1時
等伯顕彰セレモニー

- ・ 箏、三絃、尺八合奏 玉木社中 箏祥会
- ・ 献茶、献歌、献句 奥村社中・七尾文芸のつどい
- ・ コーラス ドルチェママ

入場料 無料 主催 等伯会
連絡先 石川県七尾美術館
☎〇七六七(五三) 一五〇〇

当館主催の催し アートホール

◇映画上映会【入場無料】

- 毎月第2・4土曜日 午後2時～
- ・ 7月10日・24日、8月14日・28日
「松田権六のわざ」(31分)
- ・ 9月11日・25日「寺井直次のわざ」(30分)

◇「長谷川等伯展」特別講演会

- ・ 10月2日(土) 午後2時～
- 演題 「受け継がれてきたもの」
- 講師 仲 春洋 氏(日本画家・長谷川派後裔)
- ★午後2時40分から対談を予定しています。
- テーマ 「等伯研究と土居先生との思い出」
- 出席者 仲 春洋 氏(日本画家・長谷川派後裔)
- 嶋崎 丞 (石川県七尾美術館館長)

※聴講無料(観覧券が必要です)

第5回 石川県七尾美術館 友の会鑑賞の旅を終えて

今回の『友の会鑑賞の旅』は、サブタイトル「大正ロマンを巡る旅」と題して、生誕百二十年・没後七十年を記念して「金沢湯涌夢二館」で開催さ

れた特別展「ゆめ・たけひさ子ども絵展」鑑賞をメインに、金沢蓄音器館、泉鏡花記念館などを見学してきました。

六月十三日(日)、『梅雨の中休み』の青い空もさわやかな朝、参加者三十三名を乗せた大型バスは定刻どおりに七尾美術館を出発。車中、過去に当館で「竹久夢二展」を開催した時の担当だった北原学芸員から当時のエピソードや夢二に関するお話があり、展覧会への期待が膨らみます。

予定時間よりやや遅れて「金沢湯涌夢二館」に到着。同館の小林館長のご挨拶につづき、高橋学芸員に解説していただきながら展覧会を見学。「夢二は生前、近しい人に『美人画より子どもの絵を描きたい』と語っていた」というお話しどおり、夢二の子どもに対する愛情が伝わる、たまらなく魅力的な作品の数々に参加者一同感激しました。

昼食をはさんで、「金沢蓄音器館」へ、野脇副館長の軽妙なトークも楽しく、見学&蓄音器の視聴をしました。なんとと言っても蓄音器で聴く『宵待草』は最高でしたね。

続いて「泉鏡花記念館」では、山本学芸員と解説



参加者の皆様(金沢湯涌夢二館にて)

ボランティアの吉田さんにわかりやすく興味深い解説をしていただき、「石川菓子文化会館」では、村中さんに石川のお菓子に関するお話の後、お茶とお菓子のサービスもしていただきました。

参加者皆様のご協力のもと、「観て・聴いて・食べて(?)」楽しい旅となりました。ありがとうございました。

子どもワークショップ

今年の夏もねんどやねん!! 子どもアーティスト誕生IV!



【小学校低学年の部】
7/22(木)～23(金)
7/29(木)～30(金)
講師:吉田 隆氏



【小学校高学年の部】
7/27(火)～28(水)
講師:渡部 浩氏



地元の彫刻作家を講師に招き、自在に形をかえる粘土を使って作品を作ります。粘土の素材感を生かして、粘土でしか味わえない立体造形の楽しさに触れてみませんか? 夏休みの宿題にもピッタリ♥



【共通事項】

時間:午前10時～午後3時
会場:当館アートホール
定員:各12名(要事前申込)※2日間参加できる方
材料費:300円(当日集めます)

持ち物:材料費・昼食・飲み物・筆記用具・汚れてもいいタオル
申込方法:7/6(火)より受付開始。電話受付のみとなります。
定員に達し次第締め切らせていただきます。

七尾美術館ワークショップ係まで。



これからの展覧会予定



◆第1・2・3展示室

「2004イタリア・ボローニヤ 国際絵本原画展」

平成16年11月5日(金)～12月5日(日)
会期中無休

毎年イタリアの古都・ボローニヤ市で開催される、世界規模の絵本原画公募展入選作品約500点が今年もやってきます。独自の世界を展開する、出久根育さんの特別展示30点もお楽しみください。また、会期中の土日には毎年恒例の子どもワークショップも開催します。お楽しみに！



「It's My Favourite!」
YUKAKO HASHI

◆第1・2展示室

「冬季・所蔵品展」

～織部の意匠～ ～現代絵画・風景を楽しむ～

平成16年12月10日(金)～平成17年2月20日(日)

当館所蔵品及び寄託品より次の2テーマで開催します。
第1のテーマは「織部の意匠」で、「池田コレクション」より桃山～江戸時代に制作された織部焼を紹介します。

また、第2のテーマは「現代絵画・風景を楽しむ」で、様々な風景が描かれた日本画・洋画などを紹介します。



「織部寄向附」



交通案内

飛行機……能登空港より能登有料道路利用約45分

車……………金沢より能登有料道路利用約1時間20分

タクシー…JR七尾駅より約5分

徒歩…JR七尾駅より約20分

市内循環バス…JR七尾駅より西回りに(まりん号) 乗車約6分

休館日のお知らせ

(7月～9月)

- ◆7月 1,2,5,12,20,26
- ◆8月 2,9,16～19,23,30
- ◆9月 6,13～17

◎次号・第39号(秋号)は10月1日発行予定です。